

# がんばろう森本商店街 ～SDGsでプレイスメーキング～

団体名●新ゼミナール／代表者名●新 広昭（副学長・経済学部教授）

## はじめに

本事業は、本学と森本商店街振興会との「連携に関する覚え書き」に基づき、森本商店街を“SDGs 商店街”としてブランディングすることを目的に新ゼミナールで取り組んでいる活動であり、2025年度で5年目となる。

## 活動内容

本年度は、「SDGs11 住み続けられるまちづくりを」を目標に、次の2項目の活動を行った。

### ①森本納涼 BON でのプレイスメーキング

2025年9月に開催されたイベントにおいて、プレイスメーキング(居心地の良い場づくり)の考え方を取り入れた会場のレイアウトと「巡り場」としてのクイズラリーをゼミ生が企画し、それらの「しかけ」が居心地の良さや滞在時間に影響したかについて、来場者アンケートにより検証を試みた。



### ②森本商店街のウィキペディア掲載

今年度の新たな取組みとして、新ゼミナールとの連携取組みをはじめとした森本商店街のSDGs 商店街化について世界に広く発信するため Wikipedia への掲載を試みた。

まず、本学経済学部佐藤ゼミが中心となって実施した、地域の記事をウィキペディアへ公開するために必要な技能を身につける、街歩きと編集作業を組み合わせた体験型講座「ウィキペディアタウン in 加賀～塩谷町～」に参加した。

次に、身につけたウィキペディアの編集スキ



ルを活かし、ウィキペディアに「森本商店街」の項目を掲載した。



これらの活動については、「まっとうまちなか商店街」との連携活動と合わせて、2026年2月7日に開催された、環境省 EPO 中部主催「2025年度 SDGs 学生サミット」で「商店街を拠点とした持続可能なまちづくり」というタイトルで発表した。

## 成果の考察、今後の課題

森本商店街との連携取組みの目的は、一過性のイベントへの参加ということではなく、プレイスメーキングの手法を活用して、商店街の認知度向上、店舗のSDGsに関する取り組みの理解推進、回遊性の創出による賑わいづくりを図り、地域コミュニティを維持・再生しようとするものであり、イベントはその実証実験の場であるととらえている。

今後ともこのコンセプトを学生はもとより、商店街メンバーをはじめとするステークホルダーにしっかりと認識してもらい、恒常的な取組みへと進化させていきたい。